

# てんしん

連携ニュース

独立行政法人

国立病院機構 甲府病院

（山梨県甲府市大淵町土の三十五）

発行責任者

院長 長沼博文

2006年2月1日発行  
第2号

<http://www.hosp.go.jp/kofu/>



## 小児医療にたずさわって

副院長 久富 幹則

「あけましておめでとうございます」と始まった今年も、暖冬の予報を大きく裏切り、大雪と寒波で日本中が大騒ぎしておりますが、早いもので一月も終わろうとしております。

私は去年の八月に副院長に就任した久富と申します。専門は小児科でこの病院に赴任以来二十年位になります。小児科医として主にNICUを中心に新生児医療を精力的に取り組んでまいりました。赴任当時の山梨県の新生児医療はまだまだ後進県で、重症黄疸や重症仮死といった今ではあまり経験しなくなった症例を多く治療して

おりました。これらの症例を東京の学会で発表した時、ある先生から「山梨はどうして重症な黄疸が多いんだ？」と質問され答えに苦慮したことを今でも強く心に残っております。未熟児にいたっては、生まれてしばらくしてから「元氣そうだからお願いします」といった依頼も多くありました。なにしろ一分一秒でも早くNICUに収容できるようにするため、県と救急隊の協力を得て、新生児専門の医師が救急車に同乗して病的な赤ちゃんを迎えに行くといった体制にいたしました。思えば県内のはとんどの病院や産婦人科医院へ病

的新生児の救急搬送を行ってきたと思えます。時代はより早期よりの治療の必要性から、新生児搬送から母体搬送への変換が必要になってまいりました。当院でも産婦人科体制の強化がなされ、最近ではNICUの入院患者は過半数が院外出生から院内出生にと大きく変わってきております。今年からは当院の二階病棟は周産期医療センターとしてさらなるグレードアップを図る所存でありますのでこれからますますお願いいたします。

また平成十五年の秋に田国立西甲府病院と統合してからは重症心身障害児を中心にてんかんや発達障害などの小児神経疾患の対応が可能となっており、昨年にもスタートした山梨県の小児救急医療システムでは輪番性二次救急病院として山梨県の小児救急医療にも積極的に取り組んでおります。

国立病院機構の政策医療である成育医療として、周産期医療、小児救急医療と小児神経疾患を三つの柱として幅広く山梨県の小児医療に貢献でき、県内の先生方や患者さんから頼られる病院を目指し

たいと思っておりますので、当院への要望や御意見を遠慮なく指摘していただきたいと思います。

私としましては半年前から副院長に從事しております。現在は小児科医としてだけでなく、国立病院機構甲府病院の舵取り役のひとりとして院長を補佐し、改革の嵐が吹き荒れる医療業界の荒波に飲み込まれない病院運営にたずさわることが求められております（自分にその能力があるかまだ疑問ですが）。そろそろ医師としての人生も第三コーナーを回って息切れもしておりますが、新しい年を迎えて初心にもどって日々の仕事に向かいたいと思っております。



## 診療科紹介



### 当院小児科の特徴

小児科医長 稲見 育大

当院の小児科では以下の三  
点の特徴として小児医療を行  
っております。

(1)未熟児を中心とした周産期

医療

(2)重症心身障害および小児神

経疾患に関する専門医療

(3)小児救急医療

(1)新生児医療

病床数はNICU六床を含  
む全三十床を有しております。

平成十八年からは周産期医  
療センターとして産婦人科と  
協力し、未熟児を中心とした

周産期医療を行っております。

御依頼があれば山梨県内全  
域から二十四時間いつでも受  
け入れております。

(2)重症心身障害に関する専門

医療

重症心身障害児(者) (重

度の知的障害と重度の身体障  
害を併せ持った方々)の専門  
病棟を三病棟(二二〇床)有  
しております。そこでは、医師、

看護師のほか、リハビリテー  
ションスタッフ、療育スタッ  
フ(児童指導員、保育士)等、  
多くの職種の職員が障害を持

った方々の健康と生活を日々  
支えています。また、在宅で  
療育を続けられている重症心  
身障害児(者)のために、短  
期入所事業を積極的に実施し  
たり、専門外来を設けてゆっ  
くりと時間をかけて診療にあ  
たっております。

(3)小児神経疾患に関する専門

医療

一般小児科外来に  
加えて、精神運動発  
達遅滞、学習障害、

注意欠陥多動性障  
害、自閉性症、言葉  
の遅れやてんかんな  
ど小児神経疾患に関  
する専門外来を行っ  
ています。予約制に  
なっておりますので、  
受診前にご連絡下さ  
い。

(4)小児救急医療

輪番二次救急病院として山  
梨県の救急医療体制にも参加  
しております。

新生児医療を専門とする五  
人と小児神経を専門とする四  
人の合計九人の小児科医師で  
常に最善を尽くし、地域医療  
に貢献したいと思えます。



## 部門紹介



## 三病棟はこの様な病棟です

三病棟看護師長 宮澤美奈子

当病棟の紹介をさせていただきます。

外科系混合病棟とおおまかに説明しても複雑でわかりにくいと思われそうですが、整形外科、一般外科、泌尿器科、産婦人科の主な手術、治療を対象として診療ケアさせていただいている病棟です。

医師の配置として整形外科三名、外科四名、産婦人科三名、泌尿器科一名が居ます。医師達は午前中外来診療、検査、病棟患者様の対応、午後は手術にと院内中を駆け回って活躍しています。

又、四日に一回の輪番制で二次救急の当番をしているので、交通外傷や骨折、緊急手術を受ける患者様等が入院されます。

手術件数は平均六、七件／週、平成十七年度は前年より入院患者数、手術件数が増加してきています。要因としては上記の受け入れもありますが、近年高齢化が進み独居老人や夫婦二人暮らしの老人が骨折やケガをされると完治するまでには最低三、六ヶ月を必要としますので、在宅復帰は困難

になります。その為、急性期の治療が終了したらリハビリ病院や老人施設に転院していく患者様は明らかに増えていくと言えます。この様な老人医療の問題点や医療連携の重要性を痛感しています。

ところで、看護チームの紹介では、看護師十八名、看護助手三名、クラーク一名で看護提供をさせていただいています。

患者様一名に対しナース一名が入院時より退院までを責任もって受け持つ体制に加え、チーム別にしてますので患者様との信頼関係をより深く築けることを目標としています。

平均年齢は……？才としておきますが、ベテランナースから新人ナースまで職員はチームワークを大切に笑顔を忘れず毎日勤務しています。



## 外 来 診 療 担 当 表

平成18年2月1日現在		月	火	水	木	金
内 科	1	渡 邊	渡 邊	渡 邊	渡 邊	渡 邊
	2	黒 澤	黒 澤	黒 澤		黒 澤
	3		尾 畑	高 木	中 尾	高 木
	4	高 崎	高 崎		高 崎	
	5				前 田	
脳神経外科	5		長 沼			長 沼
特 殊 外 来 <small>午後3:00~</small>		高 木		高 崎		高 崎
神 経 科		平 野・塩 江				
消 化 器 科		河 口	角 田	橋 爪	角 田	河 口
小 児 科	1	久 富	稲 見	久 富	久 富	稲 見
	2	島 村	鈴 木	宗 像	島 村	鈴 木
	3	畠 山	中 根	中 村	畠 山	神 谷
	3	中 村	畠 山	神 谷		中 根
					休 診 中	
外 科		橋 爪	橋 爪	船 津	鈴 木	角 田
整 形 外 科	1	萩 野	戸野塚	戸野塚	萩 野	萩 野
	2	戸野塚	落 合	落 合	落 合	戸野塚
泌 尿 器 科		相 川	相 川	相 川	相 川	相 川
産 婦 人 科	1	深 田	深 田	高 木	深 田	深 田
	2	伊 東	高 木	伊 東	伊 東	高 木
眼 科		古 市	古 市	古 市	手術日	古 市
耳 鼻 咽 喉 科					矢 崎	

※乳児健診(小児科) 毎週 火・木曜日 (完全予約制)  
 ※予防接種(小児科) 毎週 水曜日 (完全予約制)  
 ※人間ドック 毎週 月・水・金 (完全予約制)

※高齢者検診 毎週 火・木 (完全予約制)  
 ※結核検診 毎週 月・水・金 14時から16時  
 ※毎月第4金曜日 黒澤医師 糖尿病教室

### 編集後記

新年が明け、早一ヶ月が経過しようとしていきます。

本誌二月号が皆様のお手元に届く頃には、節分、立春も過ぎ暦の上では春を迎えますが、まだまだ半年を上回る寒さが続いていることでしょうか。

ともあれ、一年で最も寒い頃、皆様方におかれましてはくれぐれもお体にお気をつけていただき、ご活躍されること祈念いたします。

さて、話は変わりますが、お正月の風物詩箱根駅伝。今年は、復路の八区で先頭を走っていた大学の選手が脱走案のためか、大ブレーキを起こし四位に後退してしまいました。意識が朦朧とし、最後は歩くように、それでも彼は棒を後続の選手へと渡す事が出来ました。母校の名譽と友情のために、人と人の繋りが希薄になったと言われる昨今、私たちが忘れていた何かを思い起こされる気がしました。一年間の努力の結果を、たった一日の晴れ舞台で出さなければならぬ彼ら……

それも、もう同じ舞台でリベンジすることの出来ない四年生、彼の今後の人生に幸あれと願いたい。

(Y)

### 医療連携室直通電話

TEL 0555-240-6223  
 FAX 0555-240-6225